

# Brev från Sverige Vol.1

## もっと知りたい スウェーデン

このコーナーではスウェーデンの文化を中心に、  
おいしい香りや楽しい雰囲気、  
人々の温もり、旅に便利なさまざまな情報など、  
北欧ジャーナリスト堀紋子がお届けしていきます。

### Resa med tåg



#### 【南スウェーデン列車の旅】

スウェーデン最南端に位置する第3の都市マルメ中央駅から、今回の目的地スモランド地方の小さな村コスタへ向かいます。ホームには「何号車はこの停車位置」といった標記はなく、目的の列車が到着すると乗客はみんな右往左往。車体に表示されている番号を必死で確認し、走り出します。

スウェーデンの長距離列車は時期により座席の価格が異なります。またイスターなどの繁忙期は座席の確保も難しく、今回は3ヶ月前に販売が始まるチケットをインターネットで事前に購入。実はこれ、ちょっとした裏技なんです。乗車直前に一般席の券を買くと約12,000円なのですが、その三分の一ほどの約4,000円でファーストクラスのチケットを取ることができました。日本の新幹線に値するX2000というこの車種、車内は静かで座席も広く、シートの座り心地も最高。その上、ファーストクラスはオレンジやリンゴなどの果物、コーヒーや紅茶がフリーサービス。裏技ひとつで、こんなに快適な列車の旅ができてしまいますよ。

### Det ska vara gott att åka tåg



Photo: Lola Åkinmade Åkerström / imagebank.sweden.se

#### 【おいしい香りに包まれて】

列車の旅の楽しみは車窓からの景色はもちろん、車内での食事その一つ。スウェーデンのそれは日本の駅弁文化とはひと味違った雰囲気。長距離列車の多くには食堂車が付いていて、サンドイッチ類の他に国民食のミートボールなどの温かい食事やボリューム満点のチキンサラダなどが販売されています。アルコール類も豊富でワインを片手に食堂車で食べてもいいし、自分の席でいただくのもよし。おやつ程度ならやっぱり定番のコーヒーとシナモンロール！森や湖、麦畑、馬や牛がのびのび暮らす牧場など、春や夏に窓から見えるのどかな自然風景を楽しみながら、スウェーデン特有のおいしい香りに包まれて目的地へ向かうのもいいものです。北欧の列車には窓の下に束になったビニール袋が付いていて、片方を引っ掛けたままゴミ袋として使います。食べ終わったらその場でポイッ。列車の中だけでも食文化や機能美あふれるデザインなど色んなスウェーデンに出会えます。



#### PROFILE

##### 堀紋子

北欧ジャーナリスト&コーディネーター。北欧企業のビジネスサポート、PR等の他、スウェーデンハウス・オーナー様専用サイト【God Dag】内でもコラム「北欧ダイアリー」を連載中。